

大久保病院だより

No. 40
令和3年
1月1日

編集・発行 | 特定医療法人誠仁会 大久保病院 地域医療連携室 ● 明石市大久保町大窪2095-1 TEL078(935)2680 FAX078(935)2684

編集後記

緩和ケア病棟の Xmas会



コロナの厳しいニュースの中、当院でも面会を制限していますが、12月16日(水)にささやかなXmas会を催しました。山村院長と緩和担当の山下医師が歌とサクソで盛り上げ、ささやかながらも和やかな時間を楽しみました。



新年を迎えて



院長 山村 誠

昨年はコロナに始まり、コロナで終わった一年でした。海外では昨年の暮れからワクチン接種が開始され、まもなく日本でも実施されることと思いますが、コロナとの闘いはまだまだ終わりそうにありません。患者様・地域住民の皆様も、感染防止のために不要不急な外出を控え、家に閉じこもりがちになり、不安な日々を過ごしておられることかと思えます。しかしながら、過度な受診控えは健康上のリスクを高めてしまうことがありますので、気になる症状がある場合には、感染対策に気を付けた上で、必要な診察

を受けていただけるようお願いします。誰もがコロナに疲れて、多かれ少なかれコロナ鬱の世の中ですが、私たち医療従事者の仕事は、このコロナの世の中で、一番プライドを持てるものだと確信しています。今一度、気を引き締めて患者様の訴えによく耳を傾けて、身体の病気だけでなく、心も癒して、心身ともにお元気になっていただけるように、より一層の努力をさせていただきますので、今年も引き続きご指導ご鞭撻をお願いします。

大久保病院スタッフより



11月からのコロナ再旋風の中、今も玄関前の問診・検温、ベッドコントロール、発熱外来の運営、スタッフの休養と休みなくコロナ対策に対応しているところです。



少し前になりますが、大久保小学校の生徒さんから医療職への励ましのお便りが寄せられました。生徒さんからの「手書きメッセージ」が可愛くて、職員一同「♡ほっこり♡」です。



また、当院の駐車場わきに、石路(ツワブキ)の花が今咲き誇っています。花言葉は「困難に負けない」。今の医療現場の置かれた困難の時を、自ら励ましてくれているかのように思われます。出来る限りの力と知恵を寄せ、職員一丸となって頑張ります!



特定医療法人 誠仁会
大久保病院

〒674-0051 明石市大久保町大窪2095-1
tel. (078) 935-2563
<http://www.seiinkai.or.jp/okubo/index.html>



交通機関をご利用の方

- JR山陽本線「大久保」駅下車、北へ徒歩15分
- 「大久保」駅北口より神姫バス
- ②のりば 19「山手台」行き
- ③のりば 12「西神中央」駅、「上岩岡」、「五百蔵」行き「山手小学校前」バス停下車、東へ徒歩5分

車をご利用の方

- 第二神明道路「大久保IC」より、大久保方面へ約10分

新しいアンギオ装置が入りました

循環器内科・医師 佳山 智生



当院では2020年10月より新たなフラットパネルディテクタ（FPD）搭載血管撮影装置を導入し、診療を開始いたしました。

今まで10年間使用してきた装置と比較し、新型FPDと最新画像処理技術採用により画質が向上し、被ばくも大幅に低減されています。

血管造影検査とは、心臓を取り巻く冠状動脈、脳動脈や頸動脈、下肢動脈、そして静脈系などの血管病変を診断するための検査です。血管の中にカテーテルと呼ばれる細い管を挿入し、その先端から造影剤を注入し、X線で連続的に撮影をします。撮影した画像には血管が描出され、血管狭窄や動脈瘤などを診断できます。

生活習慣病の増加に伴い、近年急増している狭心症や心筋梗塞、そして脳卒中の検査・治療を行う装置です。

具体的に従来装置と比較して変更になった点としては、

1. 画質の向上

心臓の拍動している血管でもより見やすくなった。また、ステントやガイドワイヤーといった細かい装具の視認性も向上した。回転して撮影が可能になったことで、脳血管の重なりを回避することができるようになった。

2. 被ばくの可視化

X線という見えないものを使用する検査のため、今までも安全性には細心の注意を払って検査をして



きましたが、今回の装置は、どこの場所に、どれだけ当たったか、が一目で分かる機能を有している。

3. より効率の良い検査へ

56インチの大画面モニタに必要な情報を映し出し、必要時には前回検査したCTやMRIの3D画像と連携して検査を進められるようになったので、より安全で効率の良い検査・治療を実現。

以上の3点です。

装置の入れ替えに伴い、血管造影検査室の内装も一新し、よりリラックスして検査・治療を受けていただける環境を整えました。

気になる点がございましたら、お近くの医師・スタッフへ、お気軽にお問い合わせください。



Post introduction

部署紹介

3階南病棟



3階南病棟は、地域包括ケア病棟となっています。地域包括ケア病棟とは、急性期医療を終了した後、すぐに在宅や施設へ移行するには不安がある患者様に対し、在宅復帰に向けて医療、看護、リハビリを行うことを目的とした病棟です。

患者様の在宅復帰をスムーズに行うために、在宅復帰支援計画に基づき、主治医・看護師・リハビリスタッフ・相談員等が協力して、患者様のリハビリや在宅復帰支援を行っていきます。



また、必要に応じて、退院後の日常生活で困る事のないように、実際の暮らしに沿った動作指導や住宅改修の必要の有無等の検討・お手伝いもしています。

これからも、入院中や退院後の生活を安心・安全に過ごせるように、スタッフ一同、努力していきたいと思えます。

病院ボランティアがたくさんの折り紙サンタを飾りつけ



正面玄関のクリスマスツリー

外来案内のボランティアは春からお休みにしていましたが、何かお役に立てないかと話し合い、マスクフィルター作りや病院周辺の草抜き、午後の外来患者様の少なくなった時間に車イスのチェックなどの活動を9月から再開しています。

折り紙ボランティアの指導でサンタクロースを100あま

り折り紙で作り、さくらメイトさんと共に飾ってくれました。患者様や職員の心を癒してくれています。



草取りの様子